

平成30年度

当初予算の概要
(抜粋)



知立市

《予算の規模》

総額	375億6,410万円	(前年度比 1億3,650万円 0.4%増)
▶ 一般会計	237億5,500万円	(前年度比 7億500万円 3.1%増)
▶ 特別会計	117億4,910万円	(前年度比 △5億7,150万円 4.6%減)
▶ 企業会計	20億6,000万円	(前年度比 300万円 0.1%増)

☆一般会計

《歳入の概要》

● 市 税	119億9,353万2千円	(前年度当初予算比 2億5,488万8千円 2.2%増)
・ 個人市民税	51億7,379万1千円	(前年度当初予算比 1億3,098万7千円 2.6%増)
・ 法人市民税	8億4,177万8千円	(前年度当初予算比 2億5,565万1千円 43.6%増)
・ 固定資産税	44億6,038万円	(前年度当初予算比 △1億1,392万2千円 2.5%減)
● ふるさと応援寄附金	8,000万円	(前年度比 △2,000万円 20.0%減)
● 財政調整基金繰入金	11億6,786万3千円 (当初予算編成後残高見込3億170万6千円)	(前年度比 △2,868万8千円 2.4%減)
● 市 債	15億5,650万円 (30年度末残高見込173億405万9千円)	(前年度比 1億1,630万円 8.1%増)

主な市債

・ 知立連続立体交差関連道路改良事業	6,850万円	・ 長田排水路改修事業	4,500万円
・ 知立連続立体交差事業	6億1,040万円	・ 知立駅周辺土地区画整理事業	3億3,340万円
・ 知立駅北地区市街地再開発事業	1億4,650万円	・ 花園里線整備事業	7,220万円
・ 臨時財政対策債	1億4,000万円		

《歳出の概要》

人と環境にやさしく、健康で安心して暮らせるまちづくり

1 防犯カメラ設置費補助金交付事業

1,658 千円（安心安全課）

犯罪を未然に防ぐ防犯カメラ設置の普及を目的とした事業であり、設置者に対して費用の一部を補助することにより、安全で安心なまちづくりを推進する。平成 30 年度からは、地域の同意を得た町内会に対しても補助対象とする。

2 昭和未来会議推進事業

3,993 千円（福祉課）

昭和地区及び東小学校区住民を主な対象とした地区会議を平成 30 年度も継続して開催し、地域の課題、情報の共有、課題解決に向けた取組の報告をしていく。

3 強度行動障害者支援事業 【新規】 300 千円（福祉課）

強度行動障害者本人・家族が安定した生活を送ることができ、支援を必要とする時に必要な支援が受けられるよう、強度行動障害者を受け入れる事業所への補助金の交付を行う。

4 障害者相談支援事業 【拡充】 39,434 千円（福祉課）

障がいのある人の福祉に関する様々な問題について、障がいのある人、家族、支援者等からの相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援等を行う。相談件数や複雑な案件の増加に対応するため、相談支援員を 1 人増員する。

5 知立市こころ応援計画策定事業 【新規】

4,688 千円（健康増進課）

自殺対策大綱の基本方針に基づき、既存の健康知立 21 計画や地域福祉計画などの他の計画との調和を図りながら、地域の実情を踏まえ、自殺対策基本法に基づく市町村自殺対策計画として、知立市こころ応援計画を策定する。

6 9020 歯科健康診査・表彰事業 【新規】

421 千円（健康増進課）

9020 を達成している市民を募集、表彰することにより、歯の健康を維持し、健康に食べることの重要性を広く市民に啓発し、さらなる健康づくりの意識向上と歯科保健事業の推進を図る。

7 自主防災活動活性化事業 1,515 千円（安心安全課）

災害支援活動等経験豊富な NPO に委託し、自主防災会相互の情報交換・研修会や講習会を実施する。また、各自主防災会が災害応急活動時に、被害情報や安否情報を一目で共有できる地図を作成し、避難行動要支援者の救助に活用する。

人々が集う交流のまちづくり

- 1 **市制 50 周年事業 【臨時】** 871 千円（企画政策課）
平成 32 年度に市制 50 周年を迎える知立市にふさわしい周年事業のあり方などを検討するため、市制 50 周年事業準備委員会を設置し、準備を進める。
- 2 **かきつ畑プロジェクト推進事業 【新規】** 500 千円（経済課）
農への関心や理解を高めるため、関係団体からの情報収集や農に触れる人を増やすイベント等を実施する。
- 3 **八橋かきつばた園整備事業 【臨時】** 9,770 千円（経済課）
知立市の重要な観光資源である八橋かきつばた園のかきつばたの生育不良の原因と思われる病原菌の排除を目的として、かきつばた池の土壌の入替えを実施する。
- 4 **観光交流センター管理運営事業 【新規】** 2,617 千円（経済課）
旧東海道沿いのかつての池鯉鮒宿に位置する知立駅北地区商店街の一角に観光交流センターを設置、運営し、来訪者の利便性を向上させることで、観光振興を図る。
- 5 **幹線市道路面緊急補修事業** 71,700 千円（土木課）
1・2 級幹線道路の舗装修繕を実施することで自動車の安全で快適な走行環境を確保し、安心安全な道路の維持を図る。
- 6 **知立中央通線道路改良事業** 62,000 千円（土木課）
知立中央通線と上重原町 13 号線の交差点に信号が設置できるよう、知立中央通線に右折帯設置し、交差点改良を行い、歩行者の安全確保、車両交通の円滑化を図る。
- 7 **東上重原西中線歩道整備事業** 54,400 千円（土木課）
東上重原西中線（上重原町本郷交差点から西中町西中苑交差点までの区間）の歩道を整備する。
- 8 **前田排水路改修事業 【新規】** 1,900 千円（土木課）
既設雨水管の排水能力不足を改善するため、排水路の改修を行う。
- 9 **八橋東西線整備事業** 74,795 千円（都市計画課）
（旧）八橋里線整備事業。市北東部地域の発展等に寄与するため、幹線道路を整備し、同地域の移動性及び利便性の向上を図る。
- 10 **花園里線整備事業** 209,980 千円（都市計画課）
（旧）花園八橋線整備事業。市北東部地域の発展等に寄与するため、幹線道路を整備し、同地域の移動性及び利便性の向上を図る。

- 11 知立環状線整備事業 73,750 千円（都市計画課）
- 12 知立南北線整備事業 【新規】 3,900 千円（都市計画課）
知立駅周辺整備関連事業として、本路線の元国道 1 号線以北の未整備区間について知立駅周辺土地地区画整理事業の整備に合わせた整備を図る。
- 13 知立駅周辺土地地区画整理事業
1,122,163 千円（都市開発課）
- 14 知立駅北地区市街地再開発事業
654,108 千円（まちづくり課）
- 15 知立連続立体交差事業 763,000 千円（都市開発課）
- 16 知立連続立体交差関連事業 234,186 千円（都市開発課）
- 17 西新地地区土地利用計画調査事業
16,133 千円（まちづくり課）
- 18 知立駅南土地地区画整理事業 15,000 千円（都市開発課）

次代を担う子どもを豊かに育むまちづくり

- 1 子ども・子育て支援事業計画策定事業 【臨時】
3,726 千円（子ども課）
子ども・子育て支援法第 61 条の規定に基づき策定した現在の子ども・子育て支援事業計画の計画期間は平成 31 年度までのため、次期 5 か年計画を策定する。
- 2 保育園保全事業 【臨時】 9,848 千円（子ども課）
上重原西保育園の大規模改修工事に向けた設計委託及び新林保育園の配膳用昇降機の改修工事を実施する。
- 3 児童クラブ開所時間延長事業（児童厚生員増員）
【拡充】 85,760 千円（子ども課）
児童クラブの開所時間を現行の午後 6 時 30 分までから午後 7 時までに延長するため、児童厚生員を 3 人増員する。
- 4 待機児童対策事業 【臨時】 1,860 千円（子ども課）
来迎寺子育て支援センターを来迎寺児童センター内に移転し、子育て支援センター移転後の同スペースを保育室として活用することにより、来迎寺保育園において 0・1 歳児の定員の増員を図る。

- 5 児童・生徒支援事業（刈谷市立特別支援学校通学者負担金）
【新規】 8,596 千円（学校教育課）
肢体不自由が主な障がい、市内の小中学校では適切な支援・指導が困難な児童生徒が、刈谷市立特別支援学校に在学し、支援を受ける際の運営費を負担する。
- 6 少人数学級事業 92,697 千円（学校教育課）
きめ細かな学校教育を推進するため、市費負担教員（少人数学級対応教員）を学級担任として配置し、小学校全学年において少人数学級（35 人学級）運営を実施する。
- 7 小学校保全事業 【臨時】 40,900 千円（教育庶務課）
経年により機能低下の見られた知立小学校校舎について、長寿命化改良工事を行うため平成 30 年度において工事の実施設計を行う。

互いの人権を尊重し、思いやりの心を育むまちづくり

- 1 第 3 次 知立市男女共同参画プラン策定事業 【臨時】
2,603 千円（協働推進課）
国の第 4 次男女共同参画基本計画及びあいち男女共同参画プラン 2020 の策定を受け、次期 10 か年計画を策定することで、男女共同参画社会の実現を目指す。

芸術や文化を大切にすまちづくり

- 1 東海道池鯉鮒宿並絵図活用事業 【新規】
2,514 千円（文化課）
江戸時代、宿場町であった当時の屋敷割りを描いた東海道池鯉鮒宿並絵図を購入し、歴史民俗資料館に展示するなど、その保存・活用を図る。
- 2 ユネスコ登録記念事業（文化会館展示用山車幕新調事業）
5,935 千円（文化課）
ガバメントクラウドファンディングによる寄附金を活用して、平成 29 年度より山車の修復等を実施しており、このうち幕の新調について、平成 30 年度においても引き続き実施する。
- 3 福祉体育館 エレベーター更新事業 【臨時】
26,725 千円（生涯学習スポーツ課）
開館後 35 年以上が経過し、設備の老朽化が進んでいることから、福祉体育館のエレベーターの更新工事を行う。

知立が輝くための仕組みづくり

- 1 公共施設のあり方検討事業（道路LED照明灯等導入調査事業）
【臨時】 5,500千円（財務課）
道路照明灯及び公園照明灯のLED化に向け、具体的な計画（LED照明導入計画）を策定することで、LED照明へのスムーズな切替を図る。
- 2 公共施設のあり方検討事業（カーボン・マネジメント強化事業）
【臨時】 10,000千円（財務課）
平成28年5月に閣議決定された「地球温暖化対策計画」に即して、具体的かつ実効性のある「地方公共団体実行計画事務事業編」を策定する。
- 3 旅券事務事業 【新規】 2,162千円（市民課）
愛知県からの権限移譲を受け、旅券申請者が市窓口で手続きができるよう、平成31年4月の開設を目指し進めていく。

その他の主要事業

- 1 知立市都市計画マスタープラン・緑の基本計画策定事業
【臨時】 8,716千円（都市計画課）
知立市の都市計画に関する基本的な方針を示し、今後のまちづくりの将来像を示す知立市都市計画マスタープランを改定するとともに、知立市の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画である知立市緑の基本計画を改定する。

☆特別会計・企業会計の主要事業

- 1 国民健康保険特別会計
平成30年4月から国民健康保険の県単位化が行われる。
- 2 介護保険特別会計
平成30年4月から要介護状態となった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるための施策として、新たに3事業（在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業）を実施し、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる地域包括ケアシステムの構築を推進する。
- 3 水道事業会計
災害時応急資機材等整備事業において、地震等の災害時において可能な限り水道水を供給するため、応急給水資機材及び応急給水施設の整備を行う。

